

平成28年度事業報告

I ツーリズム創造・発展事業

(1) ツーリズム企画推進事業

<p>① ツーリズム企画推進事業</p> <p>(担当：総務企画)</p>	<p>事業企画委員会のもと、会員相互の連携により事業企画・推進を図るとともに、事業提案を行った。</p> <p>○事業企画委員会の開催(平成29年1月17日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州ふっこう割助成終了後の対応と方向性 ・DMO 候補法人としての取組状況と方向性 <p>○次年度予算における職員企画提案を実施</p>
<p>② 各種協議会</p> <p>(担当：国内)</p> <p>(担当：MICE センター)</p>	<p>ツーリズムおおいたが事務局として、各種会議開催、事業企画提案など、円滑な事務局運営に取り組んだ。</p> <p>○大分県ふるさとガイド連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会開催(9月26日) 出席者13名 ・総会開催(9月26日) 出席者50名 <p>○大分県教育旅行誘致協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会開催(11月2日) 出席者21名 <p>○大分県MICE誘致推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会開催(11月16日) 出席者15名

(2) 地域ツーリズム振興事業

<p>① 大分県ふるさとガイド育成事業</p> <p>(担当：国内)</p>	<p>大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を開催し、ガイドの資質向上、ガイド同士の連携を図るとともに、インバウンド向けガイド活動の取組みを促進した。</p> <p>○第1回研修会開催(9月26日) 出席者50名</p> <p>≪講演テーマ≫</p> <p>国民文化祭、ラグビーワールドカップ対策 外国人旅行者へのおもてなし</p> <p>○第2回研修会開催(2月24日) 出席者90名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひじまち歩きガイドの会による観光ガイド視察、意見交換会等を実施
<p>② 広域観光推進事業</p> <p>(担当：国内)</p>	<p>豊の国千年ロマン観光圏、六郷満山開山1300年実行委員会との連携を強化するとともに、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭との連動やインバウンド対策等、先を見据えた取組を支援した。</p> <p>○豊の国千年ロマン観光圏等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMO法人化に向けての事務局体制整備を支援 ・滞在プログラム開発、二次交通対策、情報発信等を支援 ・全国観光圏シンポジウム参加(阿蘇市開催:11月25日) 阿蘇くじゅう観光圏と連携して受入環境等を支援 ・六郷満山開山1300年実行委員会と連携した事業を実施 ・観光圏オブザーバーとして提言等を支援

		<ul style="list-style-type: none"> ・ツーリズム EXPO2016 等の大型イベントへの出展支援 ○六郷満山開山 1300 年実行委員会との連携 ・地域企画商品等の開発、販売支援 国東半島内の主要寺院等ライトアップ(11 月、12 月)を支援 各旅行会社への誘客セールスを実施 ・招聘型商談会、エクスカージョンを開催(12 月 1 日～3 日) 県、大分県商工会議所連合会との共同開催 ・全国鬼サミット(12 月 2 日)の旅行商品造成を支援 開催地:豊後高田市 ・二次交通、特別公開等受入整備検討を支援
<p>(3) 広域連携事業</p>		
<p>① 九州観光推進機構</p> <p>(担当: 国内) (担当: 海外)</p>	<p>九州観光推進機構を中心に九州各県と連携して「おんせんアイランド九州」を国内外にPRするため、商談会、招請事業等の実施及び広域観光周遊ルートの形成に向けた連携事業、情報発信に取り組んだ。</p> <hr/> <p>○九州観光推進機構商談会への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内主要都市商談会 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、金沢、松山 ・海外主要国商談会 韓国、台湾、香港、中国、フィリピン、タイ、フランス 等 <p>○海外 VJ 事業等の広域連携事業の共同実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイで県内二次交通情報等を発信(10 月～) ・台湾 FIT 向け九州バス周遊旅行 PR(バス会社との連携) 	
<p>② 各県との連携</p> <p>(担当: 国内) (担当: 海外)</p>	<p>東九州広域観光推進協議会(宮崎県連携)では、ドライブパス等を活用した福岡、中国・四国地方へのPR活動を展開するとともに、九州横断3県(長崎・熊本・大分)広域観光振興協議会では、キリスト教関連遺産などの新たなテーマ素材を中心にルート開発、商談会の開催等に取り組んだ。</p> <hr/> <p>○東九州広域観光推進協議会での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016 ひろしまフラワーフェスティバルへの出展 (5 月 3 日～5 月 5 日) 来場者数 141 万人 ・九州観光周遊ドライブパスキャンペーンの展開 キャンペーン実施期間 7 月 15 日～12 月 18 日 ※震災復興対策として九州全体での実施 ・マツダスタジアムイベントの開催(9 月 6 日) 「ありがとう広島! 元気です大分! キャンペーン」 由布市、佐伯市と連携してイベント実施(来場者 31,465 人) ・メディアキャラバン、セールスを実施 ・PRパンフレットやチラシ、ホームページの制作、発信 <p>○九州横断長崎・熊本・大分広域観光振興協議会での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市で3県の協議会独自の商談会を開催(9 月 29 日) 参加状況: 2 市(日田市、竹田市) 	

		<p>参加旅行会社数： 15 社 メディアプロモーション、旅行会社セールスを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社等の旅行商品の造成を支援 ・3県連携による観光PRホームページを開設 <p>○愛媛県との相互交流を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両県のメディアを活用した相互誘客PRの実施 ・OAB朝日放送と連携した番組制作、放送 ・愛媛県と連携したスタンプラリーキャンペーンの実施 <p>実施期間 10月1日～2月28日 参加者数 430人</p> <p>○官民連携による東九州観光ルートの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾をターゲットとした実地検証ツアー(3回)を実施 <p>参加者数 66名</p> <p>1回目 10月22日～26日 2回目 11月12日～16日 3回目 12月11日～15日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾大手ケーブル局でのTV番組での放送 <p>実施期間 7月から毎月1回</p> <p>○長崎県、佐賀県との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マカオ航空、マスコミ、旅行社を招請(10月18日～22日) <p>○長崎県、佐賀県、熊本県との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FITフェアの出展(11月4日～6日)
--	--	---

II 情報収集・発信事業

「日本一のおんせん県おおいた」の浸透を図るため、PR事業を実施するとともに、国内外の多様化するニーズに応じた情報収集、情報発信を行った。

(1) 「日本一のおんせん県おおいた」PR事業	
<p>① 若者向けPR・誘致 キャンペーンの実施</p> <p>(担当：国内)</p>	<p>3年目となる若者(22歳)を対象とした「お湯マジ! 22」を引き続き実施し、温泉のすばらしさを実感してもらい、将来のリピーター獲得を推進した。</p> <p>大学生を対象とした「観光まちづくりコンテスト」を昨年度に続き大分ステージとして誘致し、おんせん県おおいたの魅力を若者目線で発掘しPRすることで、若者への認知度向上を図った。</p> <p>○「お湯マジ! 22in おんせん県おおいた」の展開</p> <p>実施期間:平成28年11月7日～29年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り温泉入浴無料企画企画状況 県内84施設 ・WEBページ開設(9月1日) <p>会員登録数 12,008人(3月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、関西地域の大学学園祭における広告出稿 ・Facebook、じゃらんネットでの首都圏在住者に対するターゲティング広告の出稿 ・じゃらんネットで販売されるクーポン券付き旅行パックと連動した

	<p>お湯マジ事業企画のPRを実施</p> <p>○大学生観光まちづくりコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前選考会(8月25日) 参加15チームから本選進出10チームを選定 ・コンテスト本選(9月9日) 観光庁長官賞(グランプリ) 広島県立大学プラン “「運トレ」in 九重” ツーリズムおおいた会長賞 静岡県立大学プラン “星と光のレストラン～竹田の魅力を届ける空間～”
<p>② ロケツーリズムの 推進</p> <p>(担当：国内)</p>	<p>映画、ドラマのロケ地の誘致活動や現行HPの充実を図り、誘致に向けた情報発信を推進した。さらにTV番組の現地取材における仲介やアテンド等の現地での受入支援に取り組んだ。</p> <p>○第1回実務担当者研修会の開催(10月6日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会テーマ～(株)地域活性プランニング 「ロケツーリズムによる効果的な地域プロモーション」 ・協議会会員相互の連携強化に向けたワーキング開催 <p>○ロケ情報の提供、誘致活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケ先等の情報提供16件(うち9件がロケ実施) テレビ番組「温泉若おかみの殺人推理」(テレビ朝日) テレビ番組「30秒後に絶対見られるTV」(テレビ東京) テレビ番組「白熱ライブビビット」(TBS テレビ) テレビ番組「ZIP 青空キャラバン」(日本テレビ) 映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」(KADOKAWA、松竹) 雑誌「25ans 10月号」(ハースト婦人画報社) 雑誌「Tokyo Walker 10月号」(KADOKAWA) 雑誌「家庭画報 12月号」(世界文化社) 新聞「公明新聞 9月9日号」(公明党機関紙委員会) ・ロケーションハンティングツアーを実施(11月29日～30日) 県内ロケ候補地のPRと制作者とのコネクション作り 参加者:ドラマ等映像制作者6名、自治体18名 訪問先:豊後高田市、大分市、中津市、宇佐市 ・ツアー1日目に第2回実務担当者研修会の開催 テーマ「制作者に聞く大分にロケを呼ぶ秘訣とは？」 各自治体の取り組みと協力連携をアピール ロケ誘致に係る制作者側へのヒアリング <p>○HPの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会ホームページのコンテンツ新規開設 ロケ地マップ、映像作品のテーマ別ロケーション情報の特集ページを設定 18市町村別のPRコメントを掲載したロケーション紹介ページやロケ弁当等の制作側に向けたお役立ち情報を掲載

<p>③ 各種ツーリズムの推進</p> <p>(担当：国内) (担当：海外)</p>	<p>サイクルツーリズムの環境整備として、サイクリングの拠点施設の充実をはかるとともに、専用HPや情報誌を通じて国内外への情報発信を実施した。</p> <p>ロボットスーツHALによる歩行トレーニングと温泉観光を組み合わせた「HALFITツーリズム」、阿蘇くじゅう国立公園のナショナルパーク化やジオパークを観光素材とした商品開発等を支援するなど、新たなツーリズムの普及を図った。</p> <hr/> <p>○サイクルツーリズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設を充実(サイクルハブ 16 か所を増設) ・ホームページにおける映像等のコンテンツを充実 ・パンフレットの作成(1 万部)、広告掲載 ・サイクルモードインターナショナル 2016 への出展 <p>○HALFITツーリズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県医療ロボット・機器産業協議会との連携 ・海外向けPR動画制作、海外プロモーション出展を支援 <p>○新たなツーリズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇くじゅう国立公園のナショナルパーク化 地域協議会やWG等に参加、アクションプラン策定を支援 ・エコツーリズム ジオパークを活用した旅行商品造成等を支援
<p>(2) 情報発信誌等発行事業</p>	
<p>① 情報誌「Gururitto～ぐるり～」等発行事業</p> <p>(担当部：国内)</p>	<p>観光情報誌「Gururitto～ぐるり～」を年4回発行し、県内及び九州内や中国地方などの道の駅や公共交通機関のターミナルなどに配布するなど、旬な観光情報を提供した。</p> <p>掲載内容では、特集記事等を通じた幅広い階層をターゲットにした紙面の充実を図った。</p> <hr/> <p>○「Gururitto～ぐるり～」発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者選定コンペを開催(4月14日)して事業者を決定 ・夏号発行(6月30日 5万部) 〈特集〉 高原特集を中心に女子向けラグジュアリー情報 “山派・海派”のドライブコース情報 ファミリー向けの観光情報 ・秋号発行(9月9日 5万部) 〈特集〉 レトロかわいい旅に出る昭和の町情報 六郷満山の地に行く国東半島情報 ・冬号発行(11月30日 5万部) 〈特集〉 特別な由布院を過ごすおすすめスポット おんせんツウが教える温泉+α情報 ・春号発行(2月28日 5万部) 〈特集〉 着物で楽しむ観光スポット情報 春の花スポット&立ち寄り情報

<p>② ニュースレター発行事業</p> <p>(担当部：国内)</p>	<p>旅行会社やメディアに対して、ニュースレターを年6回発行し、商品の造成や販売に向けた観光素材(半年先の観光情報等)、施設情報を提供して、誘客を促進した。</p> <hr/> <p>○ニュースレター(おんせん県PRESS)を発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回発行(5月末) 夏向け観光情報、豊肥地区を中心とした着地型商品情報 六郷満山コラム ・第2回発行(6月末) 震災対策としての「おんせん県おおいた」の元気発信 「復興キャンペーン」情報 ・第3回発行(8月末) 秋の紅葉情報やドライブパス、着地型体験商品ページ ・第4回発行(9月末) 冬の温泉、グルメ・イベント情報 29年度上期(4月～9月)向け商品造成情報 六郷満山コラム、旅行会社向け支援事業情報等 ・第5回発行(11月末) ひなまつりイベント+αスポット情報 29年度上期(4月～9月)向け商品造成情報 六郷満山コラム、旅行会社向け支援事業情報等 ・第6回発行(2月末) 夏のおすすめモデルコース、姫島村の体験紹介 29年度下期向け(10月～3月)商品造成情報 六郷満山コラム、エコパーク情報や新ガイドブック情報等
<p>(3) 観光情報等の収集・発信事業</p>	
<p>① 観光情報の収集</p> <p>(担当：国内) (担当：海外)</p>	<p>県内の旬な情報やご当地ならではの情報、会員施設の情報をいち早く収集し、情報発信につなげた。</p> <hr/> <p>○会員等情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に市町村及び市町村観光協会から情報収集を実施 ・会員へイベント開催等の際、情報収集を実施 <p>○観光案内所との連携を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会連絡会議や観光案内所連絡会議開催、参加 情報共有、効果的な連携方法について検討実施
<p>② 観光情報の発信</p> <p>(担当：経営企画) (担当：国内) (担当：海外)</p>	<p>「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」(ツーリズムおおいたHP)について、日本語サイトの随時更新、海外向けサイトの定時更新(原則月2回)を行い、旬な情報、季節を先取りした効果的な情報の発信を行った。</p> <p>復興支援のポータルサイトを立ち上げ、お得な旅行情報やイベント、県内観光情報、物産販売サイトとのリンクなど、復興関係情報の一元的な情報収集・発信を行なった。</p> <p>各観光パンフレットの改訂、集約化を図り、効果的、効率的な作成・配布を実施した。</p>

	<p>国内外のアドバイザーや連携機関から情報を効率的に集約・整理し、情報発信や誘客対策に活用するシステムの構築を図った。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○おんせん県おおいた観光情報公式サイト <ul style="list-style-type: none"> ・主にイベント情報等の県内観光情報を随時発信 ・季節毎の特集ページ作成 ・Facebook や Twitter のアップ頻度を向上 HP へのアクセス機会増加を促進 ・バナー広告のセールス実施（新規契約 2 件） ・旅行会社向けページと一般観光客向けページを整備 ・交通事業者と連携した交通情報提供のあり方を検討 ・海外向けサイトでは、旬な情報や交通機関等情報を随時更新、Facebook ページについては月 2 回更新 ○復興支援ポータルサイトを開設 <ul style="list-style-type: none"> ・ふっこう割事業及び各市町村や県内交通機関などの独自キャンペーン事業や会員による取組等を掲載 ・県内観光関係サイトとのリンクを図り、発信ルートを拡充 ○ふっこう割終了後の特設サイトを開設 <ul style="list-style-type: none"> ・ふっこう割終了後の 1-3 月対策として、各市町村および県内誘客キャンペーン事業等を PR 掲載 ○B to B 用資料の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社等向けの団体旅行用資料を制作 (食事、体験、施設対応、広域モデルコース等) ○各種パンフレットの改訂、集約化 <ul style="list-style-type: none"> ・用途、効果を見据えた改訂と集約を検討 ・広告掲載の調査研究 ○多言語による情報発信強化 <ul style="list-style-type: none"> ・WEB マガジン「MATCHA」を活用して情報を発信(9 言語) 震災対策(5 月) 別府、湯布院 (6 月) 日田、九重 (7 月) 竹田、杵築、別府、湯布院 ○海外アドバイザーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・各国情報の入手、効果的な情報発信、セールス実施、助言 韓国及び香港:国内アドバイザー委嘱 台湾及びタイ:現地アドバイザー委嘱
--	--

Ⅲ 国内誘致促進事業	
	<p>大分県への観光入込客数第1位の福岡圏域を中心とした九州・中四国エリア、陸海空の全ての交通アクセスで繋がる関西・中部エリア、人口が集中する首都圏を中心とした東日本エリアに対し、それぞれのニーズに応じた情報発信やセールス活動を行うことにより、エリア毎のターゲットに対して効果的な誘客促進を図った。</p>

(1) 九州・中四国エリア誘客対策

① 九州エリア

(担当：国内)

宿泊客が伸び悩んでいる福岡圏に対しては、若い女性及びファミリー層を主なターゲットとして、誘客につながるフリーペーパー等各種情報誌に旬な情報を掲載するなど、切れ目ない情報発信に取り組んだ。

NEXCO や旅行会社、東九州自動車道沿線エリアなどの隣県や市町村、県内観光関係者、県福岡事務所等と連携したプロモーション、商品造成支援等を実施した。

○大分県福岡事務所と連携した観光PR

〈各イベント等に出展〉

- ・東九州神楽人の祭展(8月23日～9月4日)
- ・ハートフルフェスタ(10月2日)
- ・イオン熊本・大分フェア(10月20日～23日)
- ・福岡キャンピングカー&アウトドアショー(11月19日～20日)
- ・空港線天神駅のえふボックス活用
- ・宮崎、熊本、鹿児島県との連携イベント「肉バトル」(12月22日)
- ・メディアによる取材、情報発信支援

シティ情報ふくおか 別冊「WomanF」「Fukuoka Date Book」
クロスFM「鶴田弥生が行く、祝東九州自動車道開通 大分・宮崎ドライブの旅」・わくわく課外授業
「月刊九州王国」、「旅行情報誌 Leak」、「九州春Walker」

○NEXCO西日本と連携したPR(再掲)

- ・「九州観光周遊ドライブパス」
- ・福岡、宮崎、鹿児島でメディアキャラバンを実施

○宮崎県や北九州と連携した誘客

- ・伊勢えび海道の開催(9月2日～11月30日)PR
- ・大分県北部振興局と連携した「東九州の旅」を増刷

○旅行会社と連携した誘客(6月)

- ・旅行会社と連携した福岡発旅行商品を造成支援
- ・県南地域連携として食や河津桜などの観光素材をPR
- ・旅行会社と連携した誘客キャンペーンの展開支援

○九州観光推進機構との連携

- ・28年度下期観光素材説明会(6月1日 福岡市)
参加社数 33社、参加人数 127人 旅行会社セールス 6社
- ・29年度上期観光素材説明会(10月11日 福岡市)
参加社数 31社、参加人数 116人
旅行会社セールス 4社

② 中四国エリア

(担当：国内)

広島市を核に、商談会の開催、商業施設等でのイベント開催を通じた情報発信を実施するとともに、フェリー会社やNEXCO西日本と連携した「ドライブパス」の活用促進、愛媛県との相互連携を開始し、中四国エリアからの誘客を促進した。

- 九州観光推進機構と連携した誘客対策
 - ・28年度下期観光素材説明会参加(5月24日 広島市)
参加社数 19社、参加人数 52人
旅行会社セールス 5件
 - ・28年度下期観光素材説明会参加(6月13日 松山市)
参加社数 27社、参加人数 56人
旅行会社セールス 4件
- 東九州広域観光推進協議会プロモーション展開(再掲)
 - ・2016ひろしまフラワーフェスティバル出展
(5月3日～5月5日) 来場者数 141万人
 - ・ドライブパスの展開(7月15日～12月18日)
※復興対策として九州エリアでの実施事業として展開
 - ・マツダスタジアムイベントの開催(9月6日)
「ありがとう広島！元気です大分！」キャンペーン(再掲)
由布市、佐伯市との連携イベント実施(来場者 31,465人)
 - ・メディアキャラバンや旅行会社等へのセールスを実施
 - ・お国自慢カードラリーの実施(参加者数:34,527人)
- 九州横断長崎・熊本・大分広域観光振興協議会(再掲)
 - ・協議会幹事県(長崎県)を中心に総会、担当者会議を開催
 - ・広島市で3県の協議会独自の商談会を開催(9月29日)
商談会参加社数 15社 22人
県内参加市町村 日田市、竹田市
メディアプロモーション、旅行会社等へのセールス 11社
 - ・協議会ホームページ、パンフレット(6,000部)を作成
- 愛媛県との相互交流促進(再掲)
 - ・両県のメディアを活用した相互誘客PRの実施
 - ・OAB朝日放送と連携して番組を制作、放送
 - ・両県での連携スタンプラリーを実施(10月1日～2月28日)
 - ・ポスター、パンフレットを制作
- 大分県単独事業
 - ・Facebook を利用した観光PRの実施
 - ・松山市でスタンプラリーPRのメディアキャラバン実施

(2) 関西・中部エリア誘客対策

(担当：国内)

おんせん県おおいたDCの流れを引き継ぎ、JR(西日本・九州)と連携した新たな誘客キャンペーン「名探偵コナン おんせん県おおいたミステリーツアー」を実施し、誘客を促進した。

商談会等を通じフェリー、航空機を活用した旅行商品の造成を促進するとともに、県大阪事務所等と連携したイベント出展、雑誌社等のメディアを活用した効果的な情報発信を実施した。

○JR西日本と連携した誘客キャンペーン

「名探偵コナン おんせん県おおいたミステリーツアー」を県内市町村とも連携して開催

・開催期間(4月29日～2月28日)

誘客状況:8,140名

・コナンカフェでの観光PRを実施(6月18日)

入場者数:約5,000名

○フェリー、航空会社連携

・商品造成等セールス実施(ふっこう割を活用した造成支援)

○大分県大阪事務所との連携

・神戸まつり出展支援(5月15日) 来場者数143万人

・おんせん県おおいたフェア(イオンモール京都五条)出展(2月18日)

・ほっと@九州フェア2017(2月25日～26日)

・雑誌社等メディアによる取材、情報発信への支援「まっふるマガジン」

「ビジョン放映でのおんせん県おおいたPR」

「月刊 Cheek」

○九州観光推進機構との連携

・28年度下期観光素材説明会

大阪会場(5月11日)

参加社数 47社、参加人数 110人

旅行会社等セールス 9社

名古屋会場(5月18日)

参加社数 20社、参加人数 100人

旅行会社等セールス 9社

・29年度上期観光素材説明会

大阪会場(9月13日)

参加社数 32社、参加人数 130人

旅行会社等セールス 4社

名古屋会場(9月14日)

参加社数 21社、参加人数 70人

旅行会社等セールス 3社

(3) 東日本エリア誘客対策

(担当：国内)

首都圏では効果的なテレビ、各階層別のターゲティングができる専門誌等メディアを活用して、県東京事務所と連携した情報発信を実施した。

市町村や観光・商工関係者等と連携したプロモーションの実施、坐来でのメディア向けのPRを通じて、パブリシティによる露出増加を図り、本県の観光だけでなく物産等も含めた情報発信を行った。

首都圏発の航空機利用旅行商品の販売実績やプロモーション力のある旅行会社等と連携した商品造成・販売支援した観光誘客、さらには航空事業者と連携し、「お湯マジ! 22」「サイクルツーリズム」「国東半島ロングトレイル」など若者、女性、マニア層をターゲットとした新たな観光素材を活用した誘客にも取り組んだ。

○大分県東京事務所との連携

- ・坐来サロン(ミニサロン)の開催による情報収集、連携強化
観光情報と食の魅力の発信(7月15日)
- ・旅行商品定番化に向けた意見交換(9月29日)
- ・雑誌社等メディアによる取材、情報発信支援
「散歩の達人 MOOK」、「dancyu」、文芸春秋「CREA」
「料理通信」、「バイシクルクラブ」、「男の隠れ家」

○大型イベント出展

- ・ツーリズムEXPO出展(9月23日～25日)
大分、別府、津久見、千年ロマン観光圏・六郷満山開山
1300年実行委員会事務局との共同出展
来場者数 185,844人 ブース入場者数約 4,000人
- ・ふれあい熊本、大分フェア出展(10月20日～21日)
イオンモール幕張新都心での復興支援フェア
- ・地獄蒸し祭り in 東京タワー2016 出展(11月26日～27日)
実行委員会支援及び観光ブース出展、物販の実施
市町村や物産販売事業者、県商工会議所連合会との連携

○旅行会社、航空会社との連携誘致

- ・HISや航空会社と連携した商品販売と情報発信の実施
- ・旅行会社等の現地研修開催支援、現地素材説明

○九州観光推進機構との連携

- ・28年度下期観光素材説明会(5月12日 東京都)
参加社数 37社、参加人数172人
旅行会社等セールス 7社
- ・29年度上期観光素材説明会(9月12日 東京都)
参加社数 26社、参加人数 97人
旅行会社等セールス 3社

○大分空港利用促進期成会と連携した情報発信

- ・ドライブマップ等航空機利用観光客向けパンフレット制作

(4) 旅行予約サイトとの連携事業	
(担当：国内)	「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」と大手旅行予約サイトの独自キャンペーンとの連動を図り、県内宿泊予約及び周遊を促進した。さらにターゲティング広告や会員向け広告を活用したマーケティング情報の収集を実施した。

IV 団体誘客推進事業

(1) MICE 推進事業	
① MICE 誘致 (担当：MICE センター)	MICE誘致の窓口となるMICEセンターにおいて、大分県MICE誘致推進協議会構成団体と連携し、団体や企業情報の個別収集、MICE開催データの充実を図るとともに、県内関係団体や企業並びに県外重点地区への訪問セールスを関係機関と合同で実施した。
	<p>○MICE誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州 MICE 商談会への出展(4月12日) 別府市と共同参加し、32社と商談を実施 ・FAMトリップ(1泊2日)を実施(4月10日～11日) ・ライオンズクラブ世界大会(福岡開催)にブース出展 ・国際ミーティングエキスポ(IME)への出展(12月6日～7日) 大分市、ビーコンプラザ、iichico 総合文化センター、大分航空ターミナルと合同出展 具体的な商談数:6件 <p>○インセンティブツアーの誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日系企業と中心とした海外からのツアー誘致セールス活動
② 開催支援 (担当：MICE センター)	県、市のMICE助成金制度を効果的に活用し、誘致を促進するとともに、MICE助成金制度、とりわけI(インセンティブ)に関する支援の充実の検討を行った。
	<p>○MICE誘致による大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田和正コンサート(5月14日～15日) ・第5回日本感染管理ネットワーク学会学術集会(5月20日～21日) ・プリンスアイスワールド2016大分公演(6月11日～12日) ・日本小児看護学会 第26回学術集会(7月23日～24日) ・NIE 全国大会(8月4日～5日) ・トミカランド(8月15日～19日) ・日本科学教育学会第40回年会(8月19日～21日) ・第68回全日本総合女子ソフトボール選手権大会(9月17日～20日) ・第44回日本関節病学会(11月11日～12日) ・第55回日本臨床細胞学会秋季大会(11月18日～19日) ・日本リスク研究学会第29回年次大会(11月25日～27日)

		<ul style="list-style-type: none"> ・日本介護福祉士会全国大会(11月25日～26日) ・少林寺拳法全国大会(12月20日～22日) <p>○インセンティブ支援に向けた調整・検討を実施</p>
<p>(2) 教育旅行誘致推進事業</p>		
	<p>① 教育旅行の誘致 (担当：国内)</p>	<p>大阪、京都、兵庫などの関西圏並びに広島を中心とした中国地方をターゲットに、九州観光推進機構等と連携して教育旅行を取り扱うエージェント担当者の招聘や商談会等を実施した。</p> <p>震災による方面転換等の影響をカバーするため、学校、関係エージェント等に対して、継続送客に向けてのセールスに取り組むとともに、グリーンツーリズム、留学生との交流事業以外の新たな学習素材のコンテンツ開発検討を進めた。</p> <hr/> <p>○震災による教育旅行のキャンセル対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行を取り扱う旅行会社へのセールス実施 15社 ・学校訪問数 2件 <p>○教育旅行誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行関係旅行会社、学校等へのセールス活動 (2月7日) <p>○セールスツールの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの改訂、HPの更新等を実施 <p>○九州観光推進機構との連携した学校・旅行社商談会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州7県合同修学旅行説明会・相談会への参加 参加学校数 63社、参加人数 74人 商談会参加旅行会社数 106社 参加人数 187人 静岡、名古屋会場(8月4日～5日) 東京、大阪会場(8月18日～19日) 参加状況 別府市、佐伯市、豊後高田市、宇佐市 ・九州教育旅行ふっこうセミナーを開催 (2月27日) 参加旅行社 58名 ・北部九州地区連携による関西以西の学校関係者を招請 参加学校関係者数 16名 教育旅行新聞社
	<p>② 受入体制の整備 (担当：国内)</p>	<p>宿泊施設を対象にした受入れのスキルアップ研修を実施し、各施設の意識醸成を図った。</p> <p>市町村と連携しスポーツ施設・宿泊施設等の状況を精査し、商談会等で関係者へのセールスを実施した。</p> <hr/> <p>○スキルアップ研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村民泊実施家庭に対する研修会の開催 (1月20～21日、2月1日) 参加者数約200人 <p>○スポーツ合宿誘致活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州観光推進機構と連携した商談会等での旅行会社や学校関係者にPR実施

V 地域磨き対策事業	
(1) 地域企画商品の普及	
(担当：国内)	<p>おんせん県おおいたDCを契機に各地域で作られた地域企画商品(着地型商品)について、お客様のニーズに応えより多くの方に販売できるよう、市町村、市町村観光協会と共同で改良(磨き)を行い、販売促進を図った。</p> <p>○民間事業者と連携した企画商品の販路拡大、商品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県ブランドページの開設及び販売 インターネット販売サイト「アソビュー(株)」 販売商品 130 商品 年間利用件数 1,220 件 ・商品運営事業者を対象としたセミナーを開催(7月15日) 参加者 15 名 ・地域企画商品事業者に対するワークショップ等を実施 (2月2日～3日) 参加者:29 名 <p>○セールスツールの制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着地型パンフレット、掲載用カセットデータの制作、配布
(2) 地域との連携	
(担当：経営企画) (担当：国内) (担当：海外)	<p>ふるさとガイドを核とする地域の観光ガイドと連携、観光案内所職員を対象としたスキルアップ研修を通じて個々の役割、ネットワークの構築により、集観光客の受入体制の充実を図った。</p> <p>「おもてなしサポーター」や簡易観光案内所に対する県内観光情報を周知し、おんせん県ならではのおもてなしの意識醸成を図るとともに、リピーターを呼び込むための満足度の向上、外国人観光客への対応、地域の課題解決等に向けた「おもてなしセミナー」を開催した。</p> <p>○ふるさとガイドのスキルアップ研修を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修の実施(2月24日 日出町) ・実践力が高い有償ガイド育成などの調査、検討 <p>○観光案内所のスキルアップ研修を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所職員を対象としたインバウンド対応スキルアップ研修の開催(2月8日) おもてなしステップアップセミナーへの参加(77名) 現地研修 別府インターナショナルプラザ(25名) 杵築市観光案内所(19名) <p>○おもてなしサポーター、会員との連携を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災による影響を緩和するための取組をサポートに依頼 ・「おんせん県たびくらぶ」で観光施設等の元気情報を発信 ・周囲への観光情報発信の支援として「ぐるり」を提供 <p>○おもてなしセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(6月23日) 参加者21名

	<p>「大分の観光復活を確実にするために何をすべきか」 講師:(株)JTB総合研究所観光危機管理研究室長 高松氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回(6月27日) 参加者 26名 ・第3回(6月28日) 参加者 34名 ・第4回(7月5日) 参加者 22名 <p>「お客様がリピーターになるようなおもてなしの仕方」 講師:エクスペディアホールディングス 安保氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回(7月8日) 参加者 20名 <p>「魅力ある宿づくり～リピーターを増やすためには」 講師:(株)リクルートライフスタイル旅行営業統括部 稲荷山氏</p>
--	--

VI インバウンド誘致対策事業

急速に経済発展を続ける東アジアや東南アジアを主なターゲットに、本県の特徴を生かし、国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチ手法による観光誘客に取り組んだ。

また、外国人受入宿泊施設等の拡大に伴い、受入体制を強化するとともに、ラグビーワールドカップ2019大分開催に向け、欧米向け観光情報の発信や観光素材の開発などに取り組んだ。

(1) 国(地域)別対策

① 韓国対策

(担当:海外)

民間事業者と連携した商談会等への出展やプロモーションを実施するとともに、増加する個人旅行客の取り込みに向け、誘客アドバイザーと連携して現地ランド社等からの情報収集を積極的に行い、誘客につながる観光素材の提供、情報発信に取り組んだ。

九州観光推進機構と連携し、オルレコースの充実、受入体制の整備を図った。

○各種旅行博への出展

- ・ハナツアー旅行博覧会(6月9日～12日)

来場者 95,000人 県内参加関係者:10施設 28人

- ・モードツアー旅行博出展(10月13日～16日)

来場者 72,000人 県内参加関係者:4施設 6人

○九州観光推進機構主催商談会への出展

- ・JNTO ソウル商談会(6月8日)

商談社数 7社 セールス 7社

- ・JNTO 九州観光説明会・商談会

ソウル(7月6日)、釜山(7月8日)

商談社数 37社 セールス 13社

- ・JNTO釜山商談会 9月8日 商談社数10社 セールス6社

○大分県単独商談会の開催

- ・大分県ソウル観光商談会(8月30日)

韓国側参加者:85社 140名

大分県側参加者:27社 47名

○海外誘致アドバイザー(松村氏)との連携

		<ul style="list-style-type: none"> ・釜山セールス(4月24日～4月28日) 訪問社:22社 ・ソウルセールス(6月20日～24日) 訪問社:18社 ○韓国パワーブロガー(8名)の招聘(5月29日～6月2日) ・TWAY便を利用した3泊4日コース、4組で周遊
	<p>② 台湾対策 (担当：海外)</p>	<p>現地誘客アドバイザーと連携して、旅行博や商談会等への出展、プロモーションを展開するとともに、パワーブロガーを活用した現地ニーズ等の情報収集、情報発信に取り組んだ。 航空会社と連携したファミトリップの実施など、定期チャーター便を活用した誘客を促進した。</p> <p>○旅行博出展、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ATTA(台中国際旅行博覧会)への出展(5月27日～30日) 来場者約14万人 商談社数 7社、セールス 5社 ・Touch The Japan への出展(7月15日～18日) 来場者約25万人 商談社数 6社、セールス 6社 ・台北駅「日本の観光・物産博」への出展(6月24日～26日) ・大分県別府プロモーションへの出展(7月25日) ・「大分県のタベ」における観光PR(9月9日) ・ITF(台北国際旅行博)への出展(11月4日～7日) ・宇佐市単独プロモーションの参加(10月4日) ・竹田市単独プロモーションの参加(1月13日) ・台中国際旅遊大展への出展(2月17日～20日) ・マンダリン航空の定期チャーター便と連携した情報発信 ・三県連携による台湾プロモーション <p>○商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾における九州観光商談会(8月2日～3日) 台北、高雄エリアでの商談社数 18社 ・大分県単独商談会(11月21日～23日) 台北、高雄、台中の3都市で大分県の単独商談会開催 県内事業者等参加者:26団体 38人 商談社数(平均):台北12.5社、高雄8.6社、台中11.7社 <p>○海外誘致アドバイザー(日盟国際商務有限公司)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地メディア、旅行会社へのセールス活動支援、情報収集 ・商談会、プロモーション出展等の運営 <p>○パワーブロガー、メディアの招請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾ブロガー(21名)招請(6月14日～17日) ・台湾メディア、航空関係者(20名)招請(6月27日～30日) <p>○マンダリン航空との連携PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台中-大分便利用ファミトリップを実施(9月15日～17日) 参加者:航空会社及び旅行会社のVIP10名
	<p>③ 香港対策 (担当：海外)</p>	<p>リピーター、個人旅行の比率が高く日本文化への関心も高いことから、誘客アドバイザーと連携したセールス展開を通じ、現地メディア、有力旅行社等と連携したブロガー等招請やガイドブッ</p>

	<p>ク・雑誌取材・掲載など情報発信、誘客に取り組んだ。</p> <p>○ブロガー招請、メディア連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地メディアと連携してブロガー招請(8月に3回実施) 3コース(1コース2名)の観光地周遊状況をSNSで発信 ・長空出版取材招請(8月29日～9月5日) 香港で主要な観光ガイドブックの編集者を取材招聘 取材箇所 75箇所 12月発行の新刊に掲載 ・香港ブックフェアへの出展(7月20日～26日) 大分県パンフレットを会場に設置、ガイドブックと同時に発信 <p>○情報発信、誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州観光説明会・商談会(10月28日) ・キャセイパシフィック機内誌での観光素材掲載 ・香港旅行社、ランドオペレーターへの招請(2月8～10日) <p>○海外誘致アドバイザー(三浦氏)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EGLツアーズ等の現地旅行会社等セールス(4月) 6社 ・ブロガー招請、メディア取材等受入支援
<p>④ 中国対策 (担当：海外)</p>	<p>九州観光推進機構と連携した現地旅行会社やメディアを対象とした商談会に参加するとともに、ブロガーや現地メディア招請など、県上海事務所等と連携した的確な情報の収集と誘客に取り組んだ。</p> <p>○旅行博等への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マカオ国際旅行博出展(9月2日～4日)来場者数 15,000名 ・IT&CM CHINA(Incentive Travel&Conventions,Meetings) 出展(3月21日～23日) <p>○ブロガー招請、メディアとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国メディア漫歩編集局長&ブロガー招請(7月23日～26日) FIT 向け中国情報誌「微帆」に掲載 ・「日本之窗」訪日旅行ガイド 秋冬号の記事掲載 FIT 誘致向けのガイドブックの作成 <p>○商談会、招請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広州における九州観光説明会・商談会(10月26日) 商談社数:12社 <p>○長崎、熊本と連携したメディア等の招請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マカオ航空を活用したメディア、旅行会社の招請 11人 (10月18日～22日) <p>○インセンティブツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地日系法人のインセンティブツアー受入(6月3日、10日) 計7回 約700名
<p>⑤ タイ対策 (担当：海外)</p>	<p>誘客アドバイザーやJNTOなどと連携して、旅行博への出展やメディアや旅行会社等の招請、プロモーションを実施するとともに、タイ語HPの充実を図るなど、現地ニーズの収集、誘客につながる情報発信に取り組んだ。</p>

		<p>○旅行博等への出展、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TITF #19(タイ国際旅行博覧会及び併設商談会) (7月13日～18日) 来場者数:30万人 商談社数:9社、セールス社数:2社 ・FITフェアの出展(11月4日～6日) (長崎、佐賀、熊本との連携実施) 来場者数6万760人 ・日系旅行社WEB&SNS、ブログ、Facebook <p>○メディア・旅行会社招請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HISタイの統括支店長等(11名)招請(11月10日～11日) ・現地メディア招請(11月23日～28日) メディア、旅行社、芸能人 計9名招請 旅行誌「Travellers companion」、「a day」等で情報発信 <p>○商談会への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JNTO九州観光説明会・商談会(8月11日) 商談社数:6社、セールス社数:2社 ・JAPAN インセンティブトラベルセミナー(2月17日) 商談社数:6社 資料提供:11社 ・タイチェンマイセミナー商談会(2月21日) 商談社数:6社 資料提供:18社 <p>○海外誘致アドバイザー(Ms.Thitima)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ旅行社セールス 5月9日～11日:9社、11月3日～5日:6社 2月20日:3社 ・ライオンズ国際大会タイ参加者の大分県受入れ(31名)
<p>⑥ ASEAN 対策 (担当:海外)</p>		<p>ベトナムに進出している日系旅行会社主催の旅行博や JNTO と連携した商談会等に出展し、現地での知名度向上を図るとともに、ニーズに応じた商品造成を促進した。</p> <p>県内観光関係者向けに、今後増加が期待されるインドネシアやマレーシアなどのイスラム圏観光客の受入に向けて、セミナーの開催を通じて受入体制の増進を図った。</p> <hr/> <p>○旅行博・商談会への出展、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Feel Japan in Vietnam 2016(7月16日～17日) 来場者数:2万人 ・JNTO九州観光説明会・商談会(フィリピン8月9日) 商談社数:5社 ・2/23 ハノイビジットジャパンセミナー・商談会 商談社数:6社 <p>○セミナーの開催(5月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 在シンガポール VISIT JAPAN 大使 ジョージ・リム氏 参加者数 25名

<p>⑦ 欧米対策</p> <p>(担当：海外)</p>	<p>「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」英語版の定期的な更新、充実を図り、旬な情報の発信を行うとともに、海外予約サイト等を活用した情報発信を推進した。</p> <hr/> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おんせん県おおいた観光情報公式サイト(英語版)の充実 旬な情報を随時発信 Facebook ページを更新(月 2 回以上) ・フィンランド航空欧州メディア招請(5 月 8 日～10 日) 参加者:欧州メディア 7 カ国から計 8 名 ・TICTOKYO に大分県情報コーナー設置(9 月 16 日～) ターゲット 欧米人を中心とした多くの訪日外国人 ・WTM ロンドン博覧会 2016 出展(11 月 7 日～8 日) <p>○海外予約サイトとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン旅行予約サイトでの魅力発信と誘客促進 (11 月～12 月末) <p>○商談会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VISIT JAPAN トラベル&MICE マート商談会(9/21～23) 商談社数:23 社 ・九州観光説明会・商談会(パリ)(11 月 10 日) 商談社数:7 社
<p>(2) インバウンド受入態勢整備事業</p>	
<p>(担当：海外)</p>	<p>24 時間多言語対応できるコールセンターを設置し、県内観光関係施設(宿泊・観光施設、案内所等)の利便性の向上を図るとともに、外国人観光客からの直接対応を可能とするため、通訳案内士と連携した大分方式の県内観光情報の提供態勢の構築に取り組んだ。</p> <p>「多言語表示マニュアル」の普及、ムスリム対応に向けたイスラム教徒との交流、在京ランドオペレーターとの商談会を通じた県内関係者との交流を促進した。</p> <p>「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」外国語版に、新たにタイ語を加えるとともに、原則月2回の定時更新や一部自動翻訳機能の導入など、迅速かつ旬な情報を発信した。</p> <hr/> <p>○おんせん県おおいた多言語コールセンター開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用開始(7 月 25 日～) ・対象施設 宿泊施設、観光施設、観光案内所、 飲食施設、小売店まで拡大(9 月 1 日～) ・登録施設数 266 施設 862 回線 ・利用実績 981 件 ※外国人からの直接入電に対応(1 月 25 日～) 県内の通訳案内士等が観光案内を実施 <p>○「多言語表示マニュアル」の普及、推進</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○インバウンド研修会の開催(9月26日) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「首都圏を旅する訪日外国人を地方へ誘客するには」 講師 角田氏 参加者:27名 ○ムスリム対応の研究(2月11日) <ul style="list-style-type: none"> ・ムスリムへの理解を促進に向けた食文化交流会を開催 延べ参加者:80名 ○在京ランドオペレーター招請型商談会の実施(12月1日～3日) <ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行会社等との共同開催(参加者16名) ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・旬な情報の随時更新、Facebookページの更新(月2回以上)
--	---

(3) 国際大会、大会イベント対策(新)

<p>(担当:海外)</p>	<p>2019年ラグビーワールドカップ大分開催を控え、欧米、オセアニア地域に向けて、ライオンズクラブ国際大会での大分県観光PR、の誘客、情報発信に取り組んだ。</p> <p>欧米系外国人観光客の受入態勢整備に必要な調査・検討を実施するとともに、セミナーの開催など意識の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○欧米、オセアニア地域向けの誘客対策、情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ライオンズクラブ国際大会でのアピール(6月25日～27日) 国際理事34名、ラグビー強豪国(英、仏、豪等)のライオンズクラブ会員に対して、大分県観光の魅力及びラグビーワールドカップ大分開催を発信 ・オンライン旅行予約サイトでの情報発信 ・SNSによるラグビーファン向け情報発信(英国、フランスなど) ○欧米向け観光素材の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゲリッチコンサートやハウス等を活用した観光素材 新たな需要の創出に向けた調査、研究 ○欧米等外国人観光客ニーズ等各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設等での外国人観光客受入態勢状況調査 県内宿泊施設の状況・意向調査 観戦意向者の動向・嗜好調査 ・地域企画商品(着地型旅行商品)調査 欧米人ニーズに対応した商品造成実証実験 ・クルーズ船誘致に向けた市場調査 高級船やショートクルーズ船の誘致に向けた事前調査 ○おもてなしカステップアップセミナーの開催(2月8日) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:インバウンド・食・接客スキルの向上をめざして 参加者:78名 ○大分の食を伝える料理人大交流会の開催(3月23日) <ul style="list-style-type: none"> ・食を通じたおもてなし、欧米系観光客受入態勢の向上、機運醸成イベント実施 若手料理人等参加者 73名
----------------	--

(4) 訪日教育旅行(新)

(担当: 海外)

誘客が期待できる国々の学校関係者や旅行会社等を対象とした説明会への参加、現地セールスを通じて誘致に取り組むとともに、県内での学校交流先との調整や地元の受入態勢の強化に取り組んだ。

○現地セールス等誘致活動の展開

《台湾》

- ・高雄市教育旅行誘致説明会、学校関係者へのセールス実施
5月24日～25日、11月23日
- ・JNTO 台湾教育旅行説明会参加(6月14日～16日)
- ・台中市学校関係者、旅行会社セールス実施 6社
6月17日、7月26日
- ・VJ日台教育旅行交流会、教育旅行地方招請(10月3日)
- ・台湾大分県単独プロモーションと連携したPR(11月20日)
- ・春季台中旅行博出展(2月16日)
- ・台湾国際教育旅行連盟ほか学校関係者へのセールス実施
2月20日～21日

《韓国》

- ・韓国大分県単独商談会での教育旅行PR(8月29日)

《市町村事業への支援》

- ・別府市台湾プロモーションへの支援(7月25日)
- ・九重町主催訪日教育旅行誘致事業への支援(3月6日・21日)

○県内中学・高等学校等との交流推進、受入態勢の強化
交流等実績 14団体 308人

- ・台湾高雄市等各高校との県内学校交流
庄敬家事職業高校と日田三隈高校(5月10日)
高級工業職業学校と中津東高校(5月30日)
小港高中と由布高校(10月26日)
瑞祥高中と大分豊府高校(12月12日)
前鎮高中と鶴崎高校(12月12日)
新北市立雙溪高中と宇佐高校(12月12日) 等
- ・中国教育関係者訪問団との交流
蘭州市訪問団と県立安心院高校(8月7日)
山東省教育関係者と別府市山の手中学校(2月1日) 等
- ・韓国教育関係者による県内学校視察
大田教育庁傘下体育学校 大分舞鶴高校、大分商業高校
(2月13日)
韓国仁荷工業専門大学 大分工業高校(2月13日) 等
- ・訪日教育旅行パンフレット(繁体字版)制作

VII ツーリズム推進態勢強化事業	
(1) 総会の開催	
(担当：経営企画)	<ul style="list-style-type: none"> ○総会開催(6月16日) <ul style="list-style-type: none"> ・参加数:171人(うち委任状89人) 異動等に伴う理事選任 ○臨時理事会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・役員改選 筆頭副会長、副会長の選任
(2) 理事会の開催	
(担当：経営企画)	<ul style="list-style-type: none"> ○理事会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回理事会(6月2日) ・第2回理事会(10月25日) ・第3回理事会(3月13日)
(3) 運営会議及び事業企画委員会の開催	
(担当：経営企画)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業企画委員会の開催(1月17日) <ul style="list-style-type: none"> ・九州ふっこう割助成終了後の対応と方向性 ・DMO 候補法人としての取組状況と方向性
(4) 財政基盤の強化(収益事業)	
(担当：経営企画)	<ul style="list-style-type: none"> ○グッズ販売の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・グッズ等販売収入 8,862千円 ・各イベントや大会等でのブース出展、販売 ・決済システム等導入や販路拡大等に向けた調査、検討 ○広告収入や物販、企画提案による収入確保について検討
(5) 会員との連携強化	
(担当：経営企画)	<p>2ヶ月に1回「ツーリズムおおいた NEWS」を発行し、各種事業の現況や県内の観光の動向を紹介することで、会員への迅速かつ、きめ細かな情報提供を行うとともに、会員と共同での事業推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ツーリズムおおいた NEWS」の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等開催の事前周知により会員の参加を促進 ・セミナーや講演会情報の会員への情報発信を充実 ・最新の国内外の誘客取組み状況を紹介 <p>〈発行状況〉 53号(6月2日) ・54号(8月3日) ・55号(10月31日) 56号(29年1月31日) ・57号(29年3月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メール等を活用した会員への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業の企画提案依頼等 ・誘客キャンペーン等情報の提供 ○会員数の状況(平成29年3月31日時点) 正会員 231 準会員 36

(6) 地域観光協会との情報交換 (新)	
(担当: 経営企画)	<p>県内の各地域観光協会との連絡会議を設置し、定期的な意見・情報交換を開催し、効果的・効率的なツーリズムの振興を推進した。</p> <p>○観光協会連絡会議の開催(意見交換、情報共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(5月16日) 震災対策の内容、各地域における取組等 ・第2回(9月16日) ふっこう割事業の状況と各管内の状況 各協会における復興対策の実施状況、今後の予定 次年度予算に向けての対応

VIII 熊本地震被害における復興対策

(1) プロモーション	
<p>① 九州観光推進機構との連携</p> <p>(担当: 国内) (担当: 海外)</p>	<p>九州7県の情報を集約したWEBサイトの制作、都市部や空港での情報提供、新聞への広告掲載等、九州各県参加による情報発信を実施した。</p> <p>○Webによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州ふっこう割に関する九州7県の情報を集約 ・ふっこうお知らせサイトの開設 ・九州観光復興ポータルサイトを開設し、広域情報を発信 <p>○キャッチコピー、ロゴマークの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「九州ふっこう割」のプロモーションキャッチコピー、ロゴマークを設定し九州への誘客を促進 <p>○新聞・ポスター・チラシによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国版、地方版延べ約50紙以上の新聞へ掲載 ・ポスターの貼り出し ・チラシの配布 <p>○航空各社と連携した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡空港ビル「九州の観光魅力展」(8月4日～31日) 「ふっこう」ポスター掲示やパンフレット配置の実施支援 ・首都圏、中部、関西の空港でのPRイベントの実施 <p>○JR各社と連携した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅内での広告やPRイベントを実施
<p>② 県内地域との連携</p> <p>(担当: 国内) (担当: 海外)</p>	<p>東京、大阪、福岡など主要都市において、各市町村や観光関係事業者等と連携した誘客イベントやプロモーションを通じて県内観光の実情を周知するとともに、九州ふっこう割助成の利用促進、九州ふっこう割終了後の継続した観光誘客に取り組んだ。</p> <p>メディアと連携して、多言語による海外各国向け観光情報を発信するとともに、市町村や観光施設等と連携して旅行博等に出展するなど観光誘客に取り組んだ。</p>

《国内プロモーション》

○復興のロゴマーク、キャッチコピーの設定

- ・大分県の「ふっこうキャッチコピー『もういいゆ！』」及び「ふっこうロゴ」を設定

○おんせん県おおいた「元気発信」

- ・「元気発信」チラシを作成、配布
- ・Facebookで県内の観光施設や宿泊施設の現地の声を発信

○復興支援ポータルサイト開設(6月10日～12月31日)

- 「おんせん県おおいた観光旅行復興キャンペーン」
- ・ふっこう割事業及び各市町村や県内交通機関などの独自キャンペーン事業等をPR掲載

市町村キャンペーン数 17 件 民間キャンペーン数 11 件

- ・県内観光関係サイトとのリンクによる情報発信拡充
震災後の施設営業状況や復興イベント情報、県内観光情報等とふっこう割事業情報を一元的に発信
- ・効果(6月10日～12月31日)

PV数 214,010 件 訪問者数 162,893 件

○おんせん県おおいた復興キャンペーンの開催

【福岡会場】

- ・「Thank ゆ♫」フェア in JR博多シティ(6月18日)
場所: JR博多駅前小規模イベントスペース
参加状況: 12市町村
大分市、日田市、臼杵市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、姫島村、九重町、玖珠町

- ・「Thank ゆ♫」フェア in 福岡市役所(7月2日～3日)
場所: 福岡市役所前ふれあい広場
参加状況: 15市町
大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町

【大阪会場】

- ・「Thank ゆ♫」フェア in JR大阪駅(6月18日)
場所: JR大阪駅構内
参加状況: 9市町
大分市、中津市、日田市、臼杵市、津久見市、豊後高田市、杵築市、国東市、九重町

【東京会場】

- ・「Thank ゆ♫」フェア in JR有楽町駅前(7月15日)
場所: JR有楽町駅前
参加状況: 4市 大分市、別府市、日田市、由布市
航空会社: 4社

《九州ふっこう割助成終了後の対策》

○ふっこう割終了後特設サイト開設(1月1日～3月31日)

- ・各市町村および県内誘キャンペーン事業等をPR掲載
市町村キャンペーン数 10 件 民間キャンペーン数 4 件
- ・効果 PV数 15,305 件 訪問者数 13,408 件
- ・グリーンツーリズム等の体験を特集したWEBページ制作

○おんせん県おおいた「Thank ゆ♨」キャンペーンの開催

【福岡会場】

- ・「Thank ゆ♨」キャンペーン in キャナルシティ博多(1月28日)

場所:キャナルシティ博多

参加状況:8市町

大分市、中津市、日田市、宇佐市、豊後高田市、
津久見市、玖珠町、九重町

【広島会場】

- ・広島観光宣伝イベント(2月11日～12日)

場所 イオンモール広島祇園

実施団体

観光施設連絡協議会、べっふ地獄めぐり、
大分マリンパレス水族館「うみたまご」、
高崎山自然動物園、別府ロープウェイ、別府ラクテンチ、
ハーモニーランド、九州自然動物公園アフリカンサファリ、
杉乃井ホテル、大分香りの博物館、城島高原パーク

- ・九州・沖縄春の大観光展(2月18日～19日)

場所 イオンモール広島祇園

実施団体

九州・沖縄8県の観光連盟、九州観光推進機構、
日本観光振興協会九州支部

参加状況:1町 九重町

- ・メディアPR

広島でタブロイド紙やフリーマガジンを利用した広告掲載

【京都会場】

- ・おんせん県おおいたフェア in 関西(2月18日)

場所:イオンモール京都桂川

参加状況:11市町村

大分市、別府市、日田市、豊後高田市、宇佐市、
豊後大野市、由布市、国東市、姫島村、日出町、九重町

【名古屋会場】

- ・ほっと@九州フェア 2017(2月25日～26日)

場所:久屋大通公園

主催:JR東海、JR西日本、JR九州、九観構

参加状況:1市 宇佐市

【東京会場】

		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい熊本、大分フェア(10月20日～21日) イオンモール幕張新都心での復興支援フェア ・地獄蒸し祭り in 東京タワー2016 出展(11月26日～27日) 実行委員会支援及び観光ブース出展、物販の実施 大分県商工会議所連合会との連携 ○メディアPR <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告への広告掲載(6件) ・TVCM(シンフロ復興バージョン)を広島エリアで放送 ○県内で楽しめる体験を中心とした情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズム等の体験特集WEBページ動画 ・YouTube 広告を掲出する等オンラインでのPRを実施 ○九州「ふっこう割」PR ツールの制作 <ul style="list-style-type: none"> ・PR チラシやうちわ等のノベルティやPR ツールを制作し、県外事務所及び県内宿泊施設等への設置やイベント等で配布 《海外プロモーション》 ○メディア等連携情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・国内在住の英国人、米国人向け雑誌3誌での大分特集 ・WEB マガジン MATCHA による9か国語による情報発信 ・各市町村、観光施設等との商談会、旅行博覧会の参加
--	--	---

(2) 誘客対策 (旅行会社連携、宿泊券発行)

	<p>① 旅行会社との連携 誘客</p> <p>(担当：国内) (担当：海外)</p>	<p>店頭販売旅行会社等(リアル系・メディア系)と連携して宿泊旅行商品を造成、販売し、観光業界と一体的に早期復興に向けた誘客対策に取り組んだ。</p> <hr/> <p>《九州ふっこう割助成事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅行会社を対象とした事業説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所 県庁 ・参加者数 第1回(6月27日)77人 第2回(6月29日)22人 ○国内募集型、受注型旅行商品の造成、販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期(7月1日～9月30日宿泊分) 最大割引率7割 ・第2期(10月1日～12月28日宿泊分)最大割引率5割 ○海外 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期(7月1日～9月30日宿泊分) 助成 3,000円/1人1泊 ・第2期(10月1日～12月28日宿泊分) 助成 第1期と同様 <p>《単独誘客事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅行会社等店頭ディスプレイコンテスト開催(7月～) <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊券利用啓発グッズ(ポップ、付箋、DVD等)の制作 ○国内旅行会社等向け現地視察助成を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・商品販売、商品造成促進に向けた現地視察に対し助成支援 助成社数:6社 延べ視察参加者数:174人
--	---	--

		<p>○大分県単独商談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度上期(4月～)旅行商品の造成を促進するために市町村と連携して観光素材をアピール 対象 全国の国内旅行会社及び在京ランドオペレーター 参加旅行者数:49社 102人 日程 商談会、大交流会 12月1日 エクスカージョン(県内4コース) 12月2日～3日 共催 六郷満山開山1300年実行委員会、 大分県商工会議所連合会 <p>○H.I.Sと連携した首都圏からの誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成約者特典等による大分県旅行商品の訴求力向上 ・旅行商品と連動した「お湯マジ! 22in」のWebPR ・首都圏店舗での重点販売イベント開催 実績 1,967人泊 <p>○福利厚生市場における裕福層向けプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web特集ページPR(2月3日～3月31日) ・会員向けメールマガジンの配信 <p>○坐来ミニサロンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の食を通じた魅力発信 ・誘客に対する課題解決に向けた意見交換の実施 (2月6日 H.I.S、2月22日 ANAセールス)
	<p>② 宿泊券発行による誘客</p> <p>(担当：国内)</p>	<p>大手コンビニエンスストア(セブン・イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ)と連携し、プレミアム付き宿泊券を発行し、県内の中小宿泊施設や農家民泊施設を含む幅広い宿泊施設への誘客を促進した。</p> <p>《九州ふっこう割助成事業》</p> <p>○宿泊施設を対象とした事業説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分会場(7月1日) 参加者数:72人 ・別府会場(7月4日) 参加者数:103人 ・由布院会場(7月4日) 参加者数:95人 ・日田会場(7月5日) 参加者数:62人 ・佐伯会場(7月6日) 参加者数:23人 ・宇佐会場(7月6日) 参加者数:27人 <p>○第1期(7月19日～9月30日宿泊分) 割引率5割 発行枚数:12万枚 利用可能宿泊施設登録数:532施設</p> <p>○第2期(10月1日～12月28日宿泊分) 割引率4割 発行枚数:10万6千枚 利用可能宿泊施設登録数:493施設</p>
<p>(3) 宿泊券発行等による事業成果</p>		
<p>第1期(7月～9月) 216,771人泊 第2期(10月～12月) 241,432人泊 宿泊実績計 458,203人泊 日帰りバスツアー利用者数 19,160人</p>		

Ⅸ DMO 推進事業

(1) おんせん県おおいた県域版 DMO の推進

① DMO 環境調査

(担当：経営企画)

DMO先進視察や県内観光協会や関係団体等の意見交換やセミナーを通じて、観光振興を行う組織としての組織強化、意識醸成を促進するとともに、他のDMO組織の事例や状況を調査し、県域版DMO組織としての体制や役割等について研究した。

○DMOセミナーの開催

- ・第1回(12月15日) 参加者数:70名
「大きく変化する観光とDMOの意味と課題とは」
- ・第2回(1月19日) 参加者数:15名
「DMOの正しい理解と利用方法とは」
- ・第3回(1月20日) 参加者数:25名
「観光プラットフォームとDMOの役割とは」
- ・第4回(2月23日) 参加者数:28名
「観光地域づくりと素材開発
～事例から見る誘客のヒントとチャンス～」
「気仙沼市における観光への取り組み」

○意見交換会の実施

- ・九州内DMO候補法人との意見交換会、視察受入
- ・県内DMO候補法人登録団体との意見交換(3月)

○県域版DMO組織のあり方

- ・組織体制、役割分担等について調査・研究
- ・先進事例や他のDMO組織等の取組状況等の調査を実施

② 情報収集・分析、財政基盤

(担当：経営企画)

観光客の消費動向、満足度やリピーター率などの各種指標に関するデータ集約・分析及び地域別の観光情報カルテ(案)を制作するとともに、Web販売(決済)システムの導入等、財政基盤強化に向けた手法等を調査・研究した。

○情報集積・分析

- ・現行宿泊統計内容の見直し、検討
- ・民間事業者と連携したマーケティング手法の調査、検討
- ・必要なデータ種別の検討、地域別観光情報カルテの制作

○財政基盤強化

- ・収益事業の開始、販売グッズの充実
- ・旅行業登録の見直し(第3種から第2種に格上げ)
- ・旅行商品、グッズ等の物品販売における効果的・効率的な販売システム、手法を検討

(2) 台湾(台中)との観光交流拡大

① 温泉観光交流の推進

県内温泉地の観光関係者と連携した相互交流の促進に向け、台中市での大規模イベント等に出展し、情報発信に取り組んだ。

	<p>(担当：海外)</p>	<p>○ATTA(台中国際旅行博覧会)への出展(再掲) (5月27日～30日) 来場者数:約14万人 商談社数:7社、セールス社数:5社</p> <p>○アウトバウンド(大分→台中)対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内テレビ局(OBSカボスタイム)での台中旅行の情報発信 (10月15日、10月22日) ・テレビでのお天気情報に動画を配信(計9回) ・ラジオでのスポット20秒CM(10本)
	<p>② 現地メディアとの 連携情報発信</p> <p>(担当：海外)</p>	<p>旅行商品造成に向けたメディア、旅行会社の招請を実施するとともに、個人客の誘客に向けたブロッガー招請や雑誌社等と連携した情報発信に取り組んだ。</p> <p>○ブロッガー、メディアの招請(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾ブロッガー招請(6月14日～17日):21名 ・台湾メディア、航空関係者等招請(6月27日～30日):20名 <p>○雑誌等での情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行情報誌AZトラベル、自由時報(新聞)に記事掲載(3月)
	<p>③ 航空会社との連携 情報発信</p> <p>(担当：海外)</p>	<p>現地の航空会社等と連携し、機内誌やHPを活用した大分県の集中的な観光情報発信を実施するとともに、市町村等と連携して単独商談会を開催し、旅行商品の造成・販売を促進した。</p> <p>○マンダリン航空との連携(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台中-大分初便を利用したファミトリップ実施 (9月15日～17日) 参加者:航空会社及び旅行会社のVIP 10名 <p>○大分県単独商談会の開催(11月21日～23日)(再掲)</p> <p>航空、旅行事業者等を対象に台北、高雄、台中で開催</p> <p>台北会場(11月21日)台湾側参加者:63社81名 高雄会場(11月22日)台湾側参加者:29社35名 台中会場(11月23日)台湾側参加者:46社74名</p>